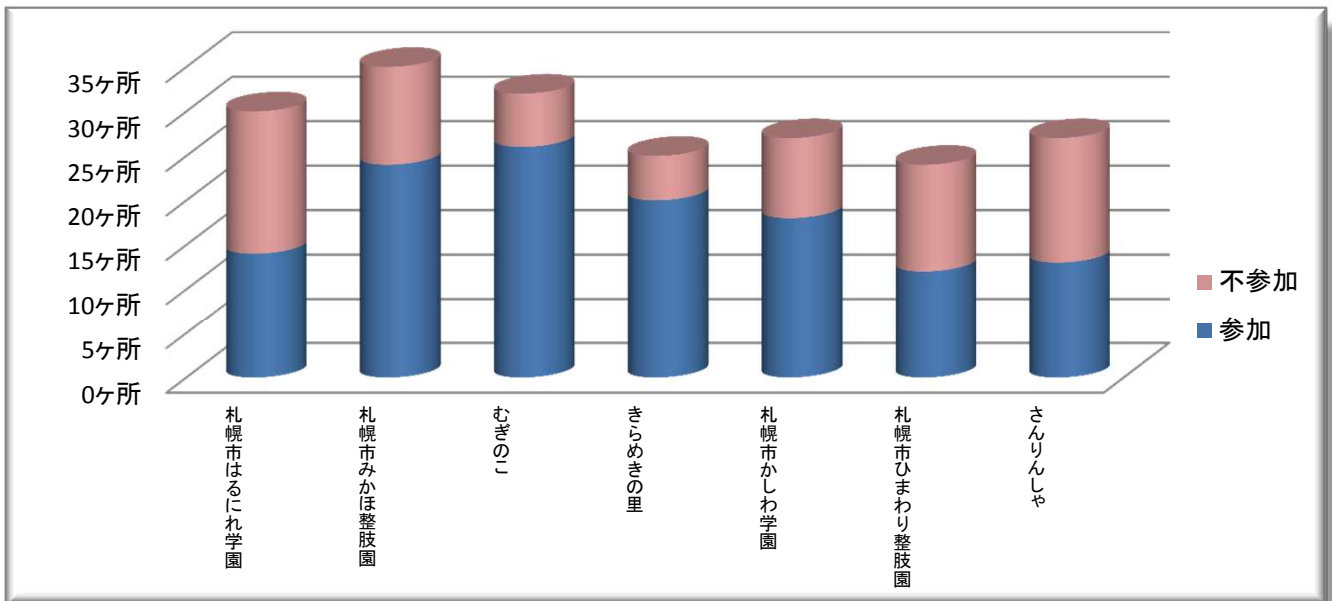


平成25年度第3回児童発達支援センター研修 集計結果

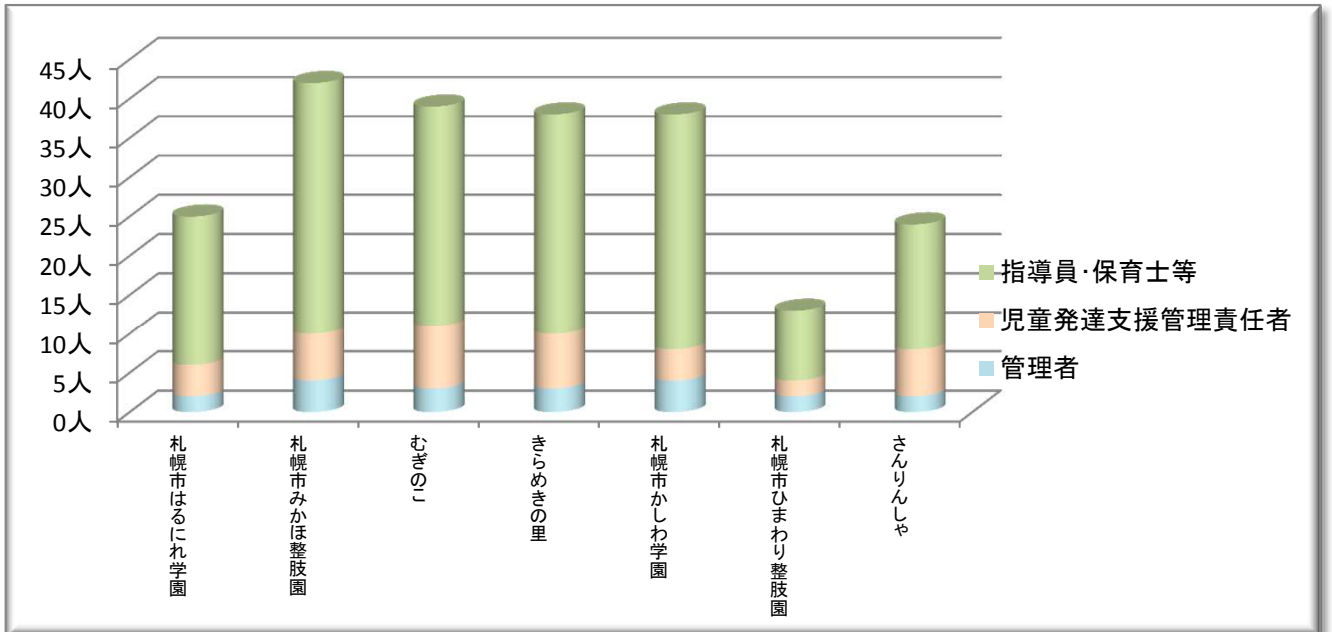
1 障害児通所支援事業所数及び参加者内訳

	対象事業所数	参加事業所数	参加割合	管理者	児童発達支援管理責任者	指導員・保育士等	参加者計
札幌市はるにれ学園	30ヶ所	14ヶ所	46.7%	2人	4人	19人	25人
札幌市みかほ整肢園	35ヶ所	24ヶ所	68.6%	4人	6人	32人	42人
むぎのこ児童発達支援センター	32ヶ所	26ヶ所	81.3%	3人	8人	28人	39人
きらめきの里	25ヶ所	20ヶ所	80.0%	3人	7人	28人	38人
札幌市かしわ学園	27ヶ所	18ヶ所	66.7%	4人	4人	30人	38人
札幌市ひまわり整肢園	24ヶ所	12ヶ所	50.0%	2人	2人	9人	13人
児童発達支援センターさんりんしゃ	27ヶ所	13ヶ所	48.1%	2人	6人	16人	24人
計	200ヶ所	127ヶ所	—	20人	37人	162人	219人
		平均	63.0%	9.1%	16.9%	74.0%	

《参加事業所数》



《参加者数》



2 相談支援事業所参加者数

	事業所数	参加数
きらめきの里	6ヶ所	10人
札幌市かしわ学園	3ヶ所	3人
児童発達支援センターさんりんしゃ	1ヶ所	2人

3 助言者所属（外部のみ）

	所属
札幌市はるにれ学園	札幌市児童心療センターセラピスト
札幌市みかほ整肢園	札幌市児童心療センターセラピスト
札幌市かしわ学園	札幌市児童心療センターセラピスト
札幌市ひまわり整肢園	札幌市児童心療センターセラピスト
児童発達支援センターさんりんしゃ	札幌市自閉症・発達障害支援センター所長

4 グループワーク

(1) グループ編成数等

	グループ数	1グループ平均	他事業所ファシリテーター
札幌市はるにれ学園	6	5.5人	おはな（2名）、なえぼん、みのり
札幌市みかほ整肢園	7	6.7人	家庭福祉相談室、グーチョキパー、たんぼぼ、きらり、ちゃちゃベリー、児童心療センター
むぎのこ児童発達支援センター	6	7.5人	
きらめきの里	7	6.9人	ど〜なっつ、プレイルームにれのかい、あーてる
札幌市かしわ学園	6	7.8人	
札幌市ひまわり整肢園	3	4.3人	
児童発達支援センターさんりんしゃ	5	5.4人	ヴェルデ明日風、アズーリ星置
平均	5.7	6.3人	

(2) 内容

事例内容について、意見交換を行う。

5 研修に対する意見

- 様々な立場の人の意見や考え方を聞くことができてよかった
- 文章から読み取ることで沢山の考えがでてきて有意義だった
- 利用者の現状と保護者の要望をふまえたうえで、どこに着目するか考え、情報を共有して、どのような支援をしていくのか考えることの必要性を改めて知ることができた
- ケースをとりまく人々や関係機関の困り事を整理することで支援の方向性を考えることができた
- 相談室の方からの意見を聞くことができてよかった
- 事例検討後に発表を聞くことで、更に多くの考え方を知ることができ参考になった
- それぞれの視点で考えられる支援について話し合うことができ、それぞれの役割を考える機会となった
- 児童についての相談が来た際には活用できると良いと思った（相談支援事業所）
- 支援会議があることを知ることができた
- それぞれの思いで展開している事業所を親が子どもに必要な支援を捉え選択できるようになるといいと思う
- 地域でセンターが研修の場を考え提供してくれていることはとても素晴らしいと思う
- 学校にも知ってもらえたらいいと思う
- 色々な意見を聞いて良かった

6 次回に向けて検討すべき事項等

- 冬期であったため、悪天候になってしまい延期せざるを得なかった。可能な限り開催時期の日程調整をしていけたらと思う。
- 真冬は天候や駐車場の確保などの問題が出てくる可能性が高くなる。準備の時間など課題はあるが、来年度は12月までに研修を終了できるように考えてもよいのではないか。
- 今回の研修は事前に事例紹介を配布し、各自が整理した上で参加したことで、短い時間の中でのグループワークだったが、付箋等も利用し、効率的に行うことができた。そのため、十分に意見交換ができたことが参加者の研修への充実感に繋がったと思われる。
- 研修の目的や具体的内容は色々あるが、参加者にとって充実した研修内容となるように話ができ、情報を得られるグループワークは今後も取り入れていけると良いと思う。
- アンケートより、今後の研修希望として、「発達障がいの特性」「発達障がいに対する支援・援助」「民間企業の取り組み、就職について」「虐待の発見・対応について、保護者対応」「札幌市の精神科医療への取り組み方」や事例検討として、「普通級で過ごす支援が必要な学童について」「高校・大学での取り組み・支援」、その他、「各事業所・社会資源・民間企業のサービス（塾・習い事など）についての情報を知りたい」などがあがっていたので、今後の研修内容に活かせると良いと思う。
- 次年度の方向付けについて、基礎内容の拡大かレベルアップの論議が必要と思う。
- グループごとに職種に合わせた事例の検討
- 各専門職種が集まり1つの事例を検討
- 実在するケースの検討（支援の成功例など）
- 各関係機関の連携について
- 乳幼児の発達（獲得していく過程とその能力）について
- 乳幼児期の母子で過ごす大切さと意味
- 専門分野の講演会
- 家庭に対する関わり方や情報提供の仕方
- 研修会だよりの発行（研修会後の報告）
- 児童発達支援・放課後等デイサービスの在り方
- 各事業所の実情と療育内容の情報交換
- 月末は忙しいので、研修の開催をさけてほしいとの意見もあった
- ケース検討の時間配分で、まとめの時間が5分程度あるとよかった
- 1グループの人数（少ないほうが、交流や検討も含め、話しやすかったようだ。）